

【概要】

（文部科学省所管）

（背景・課題）

- 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、専修学校において、遠隔授業の実施ニーズが増えてきているところ、生徒が「いつでも・どこでも・誰でも」学修できるよう、デジタル技術を活用した遠隔授業等を積極的に活用できる環境を整備することが必要。

（対応）

- 実施のニーズがある専修学校において、遠隔授業（遠隔の双方向授業・オンデマンド授業）が可能となる設備等の整備により、デジタル技術を活用した高度な教育が提供できる環境を整備する。

（効果）

- 新型コロナウイルス対策のため、専修学校において遠隔講義を行う設備等を整備し、生徒が自宅等において支障なく授業を受講できる環境を構築。
- 専修学校の生徒が自宅等において授業を受講できる環境を整備し、我が国の新型コロナウイルスの感染拡大を抑制。
- 人生100年時代の到来を見据えた、高等教育機関の学び直し（リカレント教育）環境の整備にも繋がる。

支援内容

- **新型コロナウイルスの感染拡大に対応するための遠隔授業の実施に必要となる以下の経費**
（積算単価：2,000千円／1機関、補助率1／2）

遠隔教育システム …テレビ会議システム

専用端末を使い、高品質な映像と音声で通信することが可能。

…Web会議システム

パソコンに専用ソフトウェアをインストールし、Webカメラやマイクを接続して使用。

主な機器

無指向性マイク、指向性マイク、ヘッドセット、スピーカー、ディスプレイ内蔵スピーカー、個別スピーカー、大型提示装置、大型ディスプレイ、プロジェクタ・カメラ、専用カメラ、Webカメラ、ビデオカメラ、資料共有用端末等々

対象：新型コロナウイルス対策のために遠隔授業を実施する専修学校（学校法人・準学校法人）

